

文教厚生常任委員会資料
2023年(令和5年)3月9日
こども局こども育成室

市立幼稚園の幼稚園型認定こども園への全園移行について

1 幼稚園型認定こども園(モデル園)の状況

市立幼稚園については、幼稚園としての利点を生かしながら、利用者の利便性向上を図るため、幼稚園型認定こども園(3歳～5歳児)への移行を進めています。

(1) モデル園移行状況

第1期モデル園(2022年4月移行済み)

大久保南幼稚園〔大久保地区〕、二見北幼稚園〔二見地区〕

第2期モデル園(2023年4月移行予定)

松が丘幼稚園〔明石地区〕、藤江幼稚園〔西明石地区〕、錦浦幼稚園〔魚住地区〕

(2) 運用の状況及び検証

- ・幼稚園就労枠からこども園2号認定への変更により、申し込み手続きの簡素化、無償化対象部分の拡大につながり、保護者メリットとなっています。
- ・移行前と同様の幼児教育・保育を実施し、園児は充実した園生活をおくっています。
- ・年度途中で、1号認定から2号認定へ認定変更をする保護者が増加した園もあり、保護者の就労状況の変化に関わらず、利用が継続できるというこども園の特長が活かされています。幼稚園全体としても、就労枠における預かり保育の需要は増えており、今後も就労世帯による幼稚園の活用が進むと考えられます。
- ・待機児童が多い1、2歳児の受け入れ先となる「小規模保育事業所」の連携先として、市立幼稚園の役割が高まっています。

2 全園こども園移行のスケジュール

先行するモデル園において、充実した園生活が実施できていることから、2024年(令和6年)4月に市立幼稚園全園を幼稚園型認定こども園に移行します。

2023(R5)年4月～	第2期モデル園移行 運用開始 全園こども園移行に向け、利用者にお知らせ配布・説明
2023(R5)年11月	2024年度受付開始(全園こども園移行予定で募集)
2024(R6)年4月	全園こども園移行 運用開始